



# 令和8年度 赤穂市立城西小学校 学校経営構想図

## 学校経営の 基本理念

社会情勢の激しい変化が続く中、想定外の事象と向き合い対応する力や不透明な未来を切り拓く力をどう涵養していくかという視点とともに、ウェルビーイングの向上や持続可能な社会の実現という視点が重要である。そのためにも、さまざまな「絆」を深めて、子ども達の成長を支え、誰一人取り残されないよう、子ども達が自分らしく安心して暮らせる学校・学級環境を構築していかなければならない。また、人権尊重の精神を基盤として、すべての児童に生きる力(確かな学力・豊かな心・健やかな体)を培い、保護者や地域から信頼され、必要とされる学校経営を行う。

- 1 豊かな自己実現をめざし、自ら学ぼうとする意欲、「ことばの力」を高める授業づくりを推進し、「納得解」を追究する対話を通して、確かな学力の育成を図る。
- 2 人権尊重を基盤とした、自他を認め合い、共に支え合う学級・学年・学校づくりを推進する。
- 3 多様性を認め合うインクルーシブ教育を推進し、自分らしい在り方生き方を実現しようとする社会的自立に必要な資質・能力・態度を育成する。
- 4 赤穂義士をはじめとする地域の歴史・文化・人々とのふれあいを通じて、地域とともに歩む「城西大好きっ子」を育てる。

## <学校教育目標>

自他を大切にし、夢と志をもって未来を切り拓く児童の育成  
～自分らしさを輝かせるたくましい城西っ子～

## <校訓>

第4期「ひょうご教育創造プラン」  
兵庫が育むところ豊かで自立する人づくり  
ー「絆」を深め、「在りたい自分」を創造する力」の育成ー

赤穂教育プラン  
“あすの赤穂”をになうところ豊かで自立する人づくり  
～夢と志を育む教育をめざして～

### 創造 よく考える子

- (1)学ぶ楽しさ、わかる喜びのある授業づくり
- (2)個に応じた適切な指導
- (3)基礎・基本の定着
- (4)学習意欲・学習習慣の定着
- (5)思考力・判断力・表現力等の育成
- (6)情報教育の推進
- (7)「義士教育」の充実

### 連帯 助け合う子

- (1)いじめのない安心できる「心の居場所づくり」の推進(いじめ・不登校への未然防止・早期発見と対応)
- (2)道徳教育の充実
- (3)人権教育の充実
- (4)特別支援教育の充実
- (5)保・幼・小・中の連携の推進

### 自立 たくましい子

- (1)運動習慣の確立
- (2)体育科授業の充実といのちを感じる保健・安全教育の充実
- (3)児童の活動及び個人差を考慮したきめ細やかな保健指導の推進
- (4)自ら身を守り安全を確保する能力の育成
- (5)防災教育の推進
- (6)キャリア教育の推進

### 情操 すなおな子

- (1)コミュニケーションや感性、情緒、知的活動の基盤となる「ことばの力」の育成
- (2)「対話的学び」を重視した児童の内面に根ざした道徳性の育成
- (3)全教育活動を通じた自己有用感や自尊感情の向上

## 学校・家庭・地域の連携

### 学校

- ①地域コミュニティの中核及び防災の拠点としても機能する学校の存在意義を広く地域住民にも啓発し、学校運営協議会(コミュニティ・スクール)を中心に、地域から信頼され地域と共にある学校づくりをめざす。
- ②オープンスクール、授業参観だけでなく、学校ホームページや学校だより等を通して学校の情報を適切に提供し、信頼が寄せられる開かれた学校づくりを推進する。
- ③家庭と連携し、中学校区で統一した「早寝・早起き・朝ご飯」「ノーテレビ・ノーゲームデー」の取組、SNS等の正しい利用について啓発を推進する。
- ④学習支援ボランティアなど、地域人材活用バンクを活用した教育資源の活用を図る。

### 家庭

### 地域

## 学校の組織力及び教職員の資質・能力の向上



- ①教職員としての使命感と高い倫理観を保持し、豊かな人間性の涵養に努めるとともに、教職員全員がやりがいもち、笑顔で語り合えるチームを構築する。
- ②PDCAサイクルで会議や研修を見直し、学校行事の精選を進め、教職員のワーク・ライフ・バランスの確立、心にゆとりをもって児童と向き合う時間の確保を図る。
- ③「ヒヤリ・ハット」を念頭においた教育活動の実施や危機発生を想定した研修の実施等による教職員の危機管理意識の向上を図る。
- ④児童に関連したさまざまな事案について、関係機関との連携を図りながら、迅速かつ的確な対応を組織的に行う。
- ⑤安心・安全で質の高い学びを実現する教育環境の整備・充実を図る。